

上田都市計画道路の変更 概要図 (長野県決定)

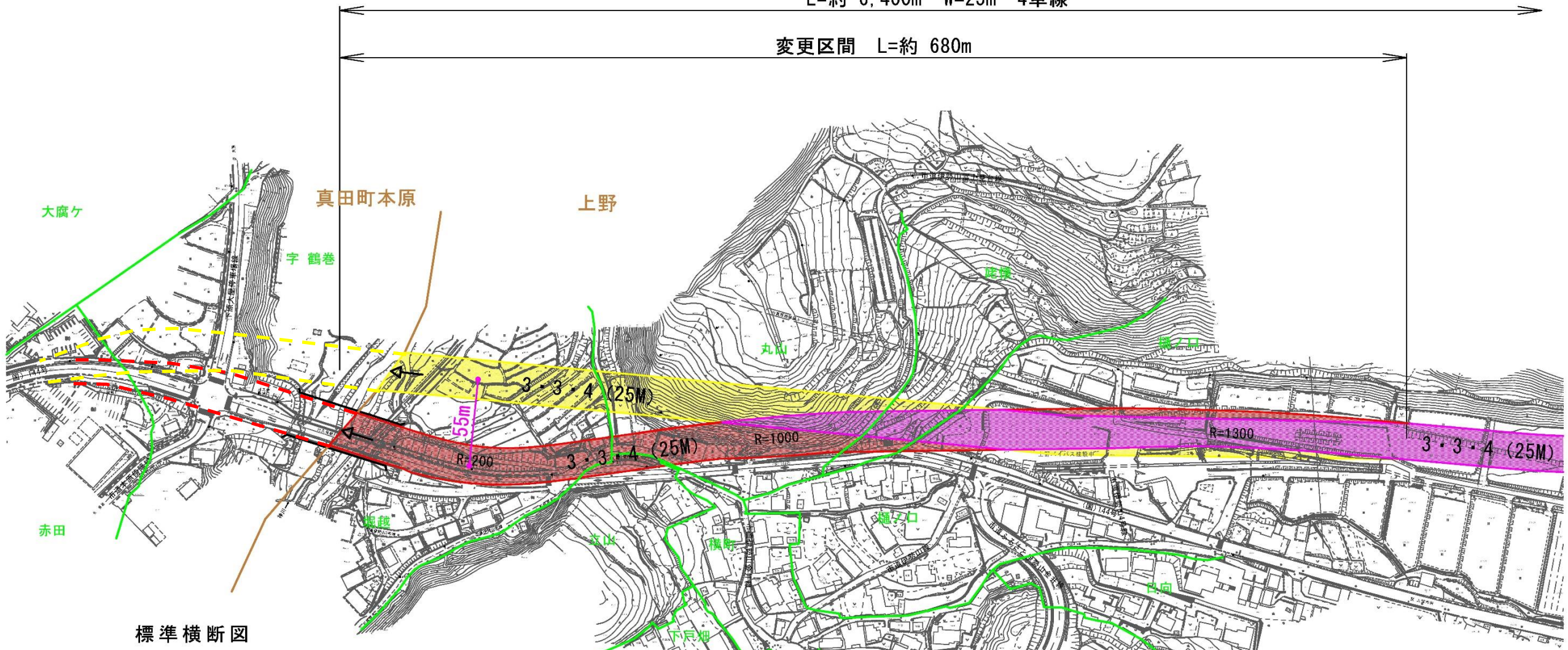
3・3・4号 諏訪部伊勢山線

3・3・4号 諏訪部伊勢山線

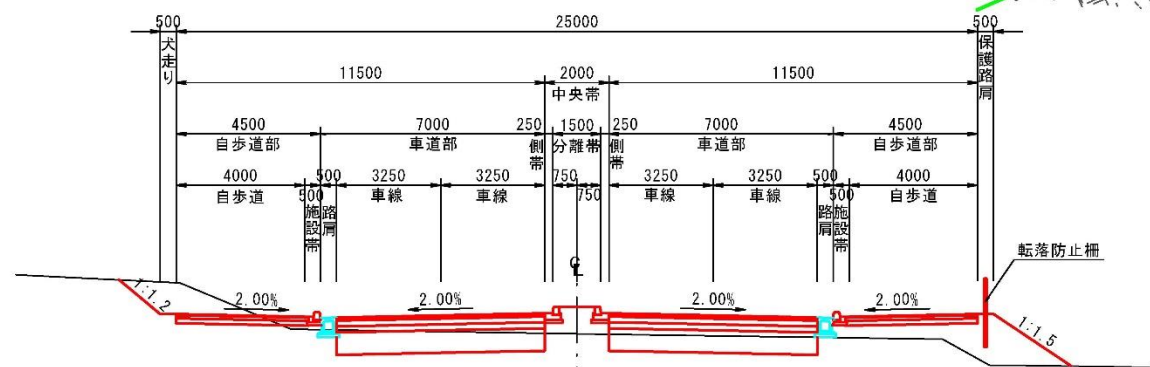
(6,380m)

L=約 6,400m W=25m 4車線

変更区間 L=約 680m



標準横断面



1 : 2,500



凡	例
	変更区間
	削除区間
	既決定区間
	起点・終点
	大字界
	大字名
	字界名
	字名

都市計画道路の位置付け及び必要性

【道路の位置づけ】

- ① 上田都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（R5.5）
圏域内の各市又は市内を結ぶ交通を担う「地域連携軸」として本路線を位置付けており、おおむね10年以内に整備することを予定する施設としている。
- ② 上田市都市計画マスタープラン（R6.3）
市内外を円滑に移動できる幹線道路網の整備方針として、広域的交流連携を形成する骨格的な道路整備を促進することとし、本路線を位置付けている。
- ③ しあわせ信州創造プラン3.0（R5.3）
緊急輸送道路の危険個所の解消による平常時・緊急時の信頼性向上として、本路線を整備路線として位置付けている。

【道路の必要性】

今回変更する区間を含む、上田菅平 I C から終点区間については、上信越自動車道上田菅平 I C へのアクセス道路であるとともに、旧真田町（現上田市）から上田市街地へ向かう主要な生活道路としての機能も担っている。また、当該区間は一般国道144号として、第1次震災対策緊急輸送路に指定されている。

現道は、人家連担地区内を通過し、幅員狭小で大型車のすれ違いも困難な状況であり、朝夕には慢性的な交通渋滞も発生している。

また、周辺小学校等への通学路にも指定されているが、歩道幅員も狭く、歩行者と自動車の接触事故も発生している。

以上から、円滑な都市交通と安全な歩行空間の確保のため、早期の整備が求められている。

（現況データ）

- ・自動車交通量：12,019台／日 混雑度1.11（R3）
- ・歩行者交通量：46人／日（R3）
- ・自転車交通量：37台／日（R3）
- ・交通事故：22件（R1～R5※人身事故）
- ・現況幅員：8.0m

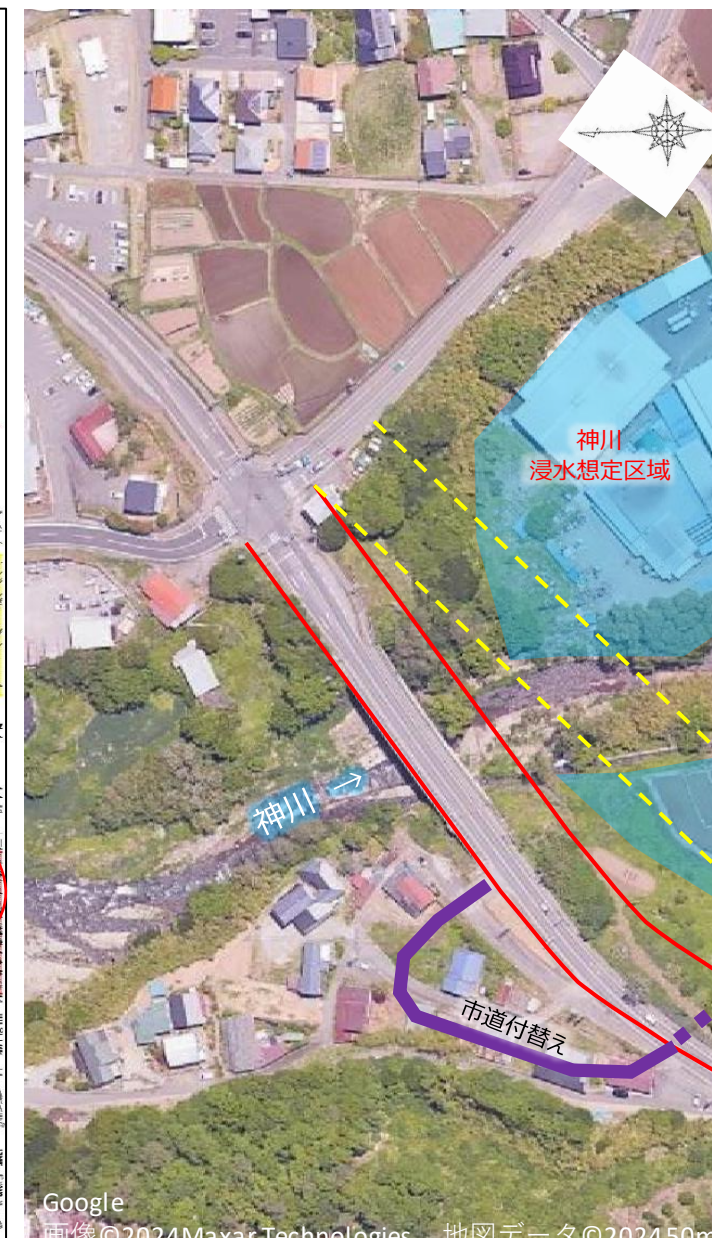
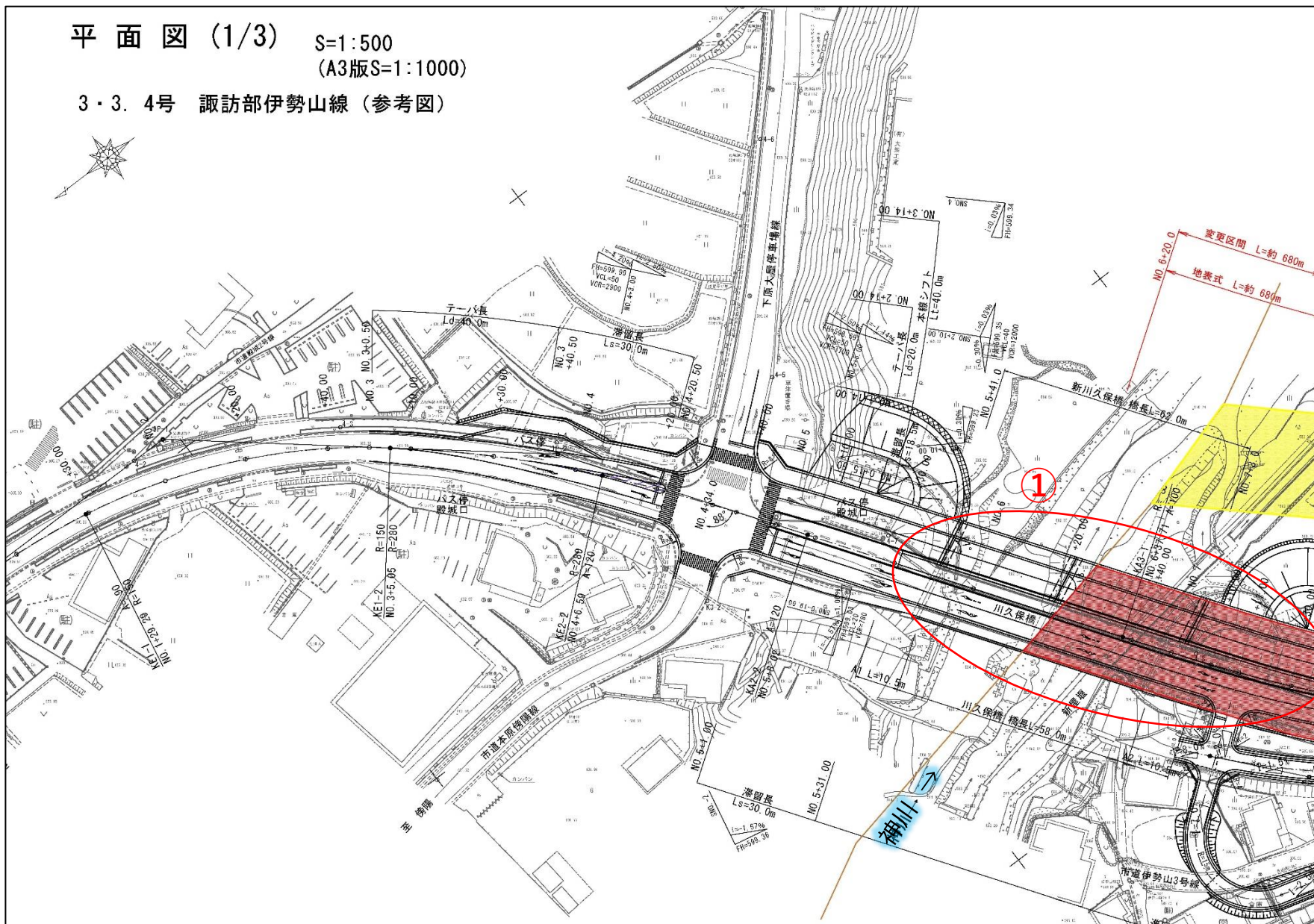


歩道幅員が狭小（1.5m未満）



大型車交通も多く、すれ違い困難

【道路の位置、区域】



＜変更内容＞

道路の走行性や交通処理機能は確保しつつ、沿道状況や地形条件を踏まえ、道路構造の詳細な検討を実施し、計画を見直し（現道側へ線形変更）

【要素①】

・神川の浸水想定区域を回避することで、安全性の確保（既存橋梁の活用により経済性も改善）

【要素②】

・高低差のある地形条件を踏まえた周辺集落からの確実なアクセス確保（地元から要望あり）

【要素③】

・がけ斜面への影響を極力避け、切土法面を最小限とすることで、安全性・経済性の向上

＜道路の規格＞

道路種級区分：第3種第2級

計画交通量：14,300台/日（R12推計）

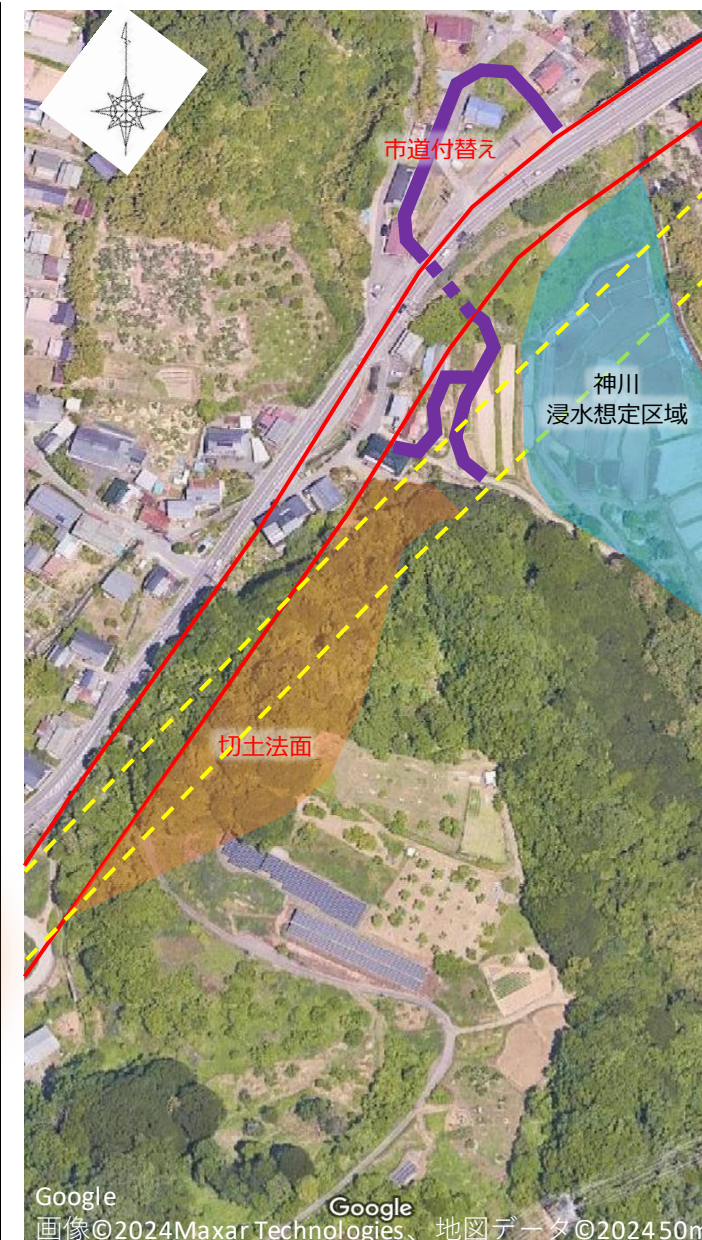
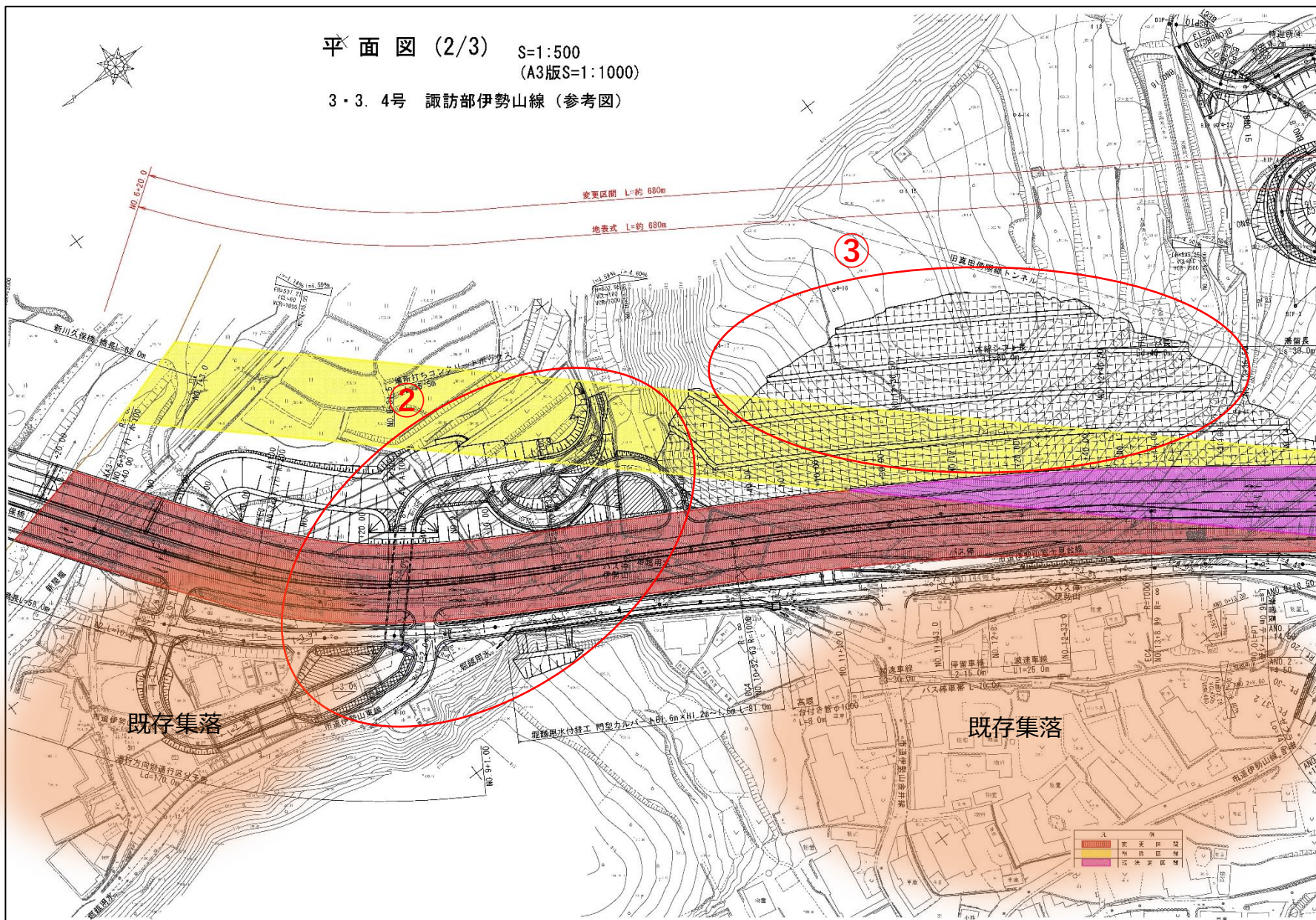
設計速度：60km/h

道路の種別：幹線街路

車線数：4車線

標準幅員：25m

【道路の位置、区域】



<変更内容>

道路の走行性や交通処理機能は確保しつつ、沿道状況や地形条件を踏まえ、道路構造の詳細な検討を実施し、計画を見直し（現道側へ線形変更）

【要素①】

・神川の浸水想定区域を回避することで、安全性の確保（既存橋梁の活用により経済性も改善）

【要素②】

・高低差のある地形条件を踏まえた周辺集落からの確実なアクセス確保（地元から要望あり）

【要素③】

・がけ斜面への影響を極力避け、切土法面を最小限とすることで、安全性・経済性の向上

<道路の規格>

道路種級区分：第3種第2級

計画交通量：14,300台/日（R12推計）

設計速度：60km/h

道路の種別：幹線街路

車線数：4車線

標準幅員：25m